

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447 (内線331)
✉klg110@town.kosai.g.jp

世界を舞台に究極のだまし合いを描く
柳 広司著 / 『ラスト・ワルツ』

角川書店

小説

映画化された「ジョーカー・ゲーム」のシリーズ第3弾。疾走する特急車内、仮面舞踏会、ドイツの映画撮影所を舞台に繰り広げられる、息詰まる頭脳戦。“魔王”の異名を持つ結城中佐が作り上げたスパイ養成組織“D機関”は、世界各国で展開する究極のだまし合いに生き残れるのか。スパイ・ミステリー好きにぜひおすすめしたい1冊です。

新しい季節に子どもと読みたい絵本
近藤 薫美子作・絵 / 『はじめまして』

偕成社

児童書

春、桜の木に花が咲き、「はじめまして」とミツバチやシジウコウの子、虫たちがつぎつぎにやってきて、あいさつをします。四季の風景とともに常に変化しながら「はじめまして」とあいさつをする桜の木。生命には同じもの、同じ瞬間などないということを、豊かに、たからかに描きあげた絵本です。子どもの読み聞かせにおすすめです。

健やかに生きるための心の断捨離

小池 龍之介著 / 『こだわらない練習「それ、どうでもいい」という過ごし方』



小学館

一般書

他人のルール違反が許せない人、年を取ることを恐れている人、「ありがとう」という言葉を欲しがる人へ、孤高の僧侶による心の断捨離。日常生活のあちこちにある「こだわりの罫(わな)」を遠ざけ心安らかに過ごすために、簡単に取り入れられる18項目。悩みの原因を「それ、どうでもいい」と言い切って、不安のない日々を実現しましょう。

普段の食卓に取り入れるコツを紹介
伊藤 栄里子著 / 『世界で一番おいしいココナッツオイルレシピ』

文化学園文化出版局

教育・娯楽

認知症予防が期待されるココナッツオイルを、毎日おいしくとるにはコツがあります。そこで、老若男女から「おいしい。また作って」と言われるレシピを考案。和食から洋食、ごはんから麺、お菓子まで、よりすぐりのレシピを紹介しています。この本でココナッツオイルを効率良く摂り、「頭も体も健康で若々しく」を目指しましょう。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

学 生時代は、ずっと図書館でアルバイトをしていました。たくさんの本に触れてきましたが、一番魅力を感じてよく読んでいたのは絵本でした。

今、父親になり、もう一度絵本の世界に戻ることにしました。

今回、紹介したい本は『パンダ銭湯』という絵本です。この絵本は、パンダたちが家族で銭湯に行く物語です。

今月の案内人



トッド・ハーグレイブさん
(岩下1区)

私も娘と温泉に行くのも好きなので、この絵本を読むと、お風呂の楽しさと

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『パンダ銭湯』(tupera tupera 作)

いま、明かされる「パンダのひみつ」。あなたは、パンダ専用の銭湯があるのを知っていますか。面白おかしいユーモアのある話が魅力の絵本。

気持ち良さを味わうことができます。また、短い話ですが、発想が面白くて絵がきれいで、ユーモアたっぷりの世界観がこの絵本からあふれています。

日本人にとってなじみのあるお風呂を舞台にして、パンダが人間のように振る舞う姿が面白く、外国人にもおすすめできます。ドッキリするような場面もあって、子どもがびっくりするかもしれませんが、親子

の読み聞かせにはぴったりだと思います。

私はもっと英語の絵本の読み聞かせをしたいのですが、娘のリクエストで、最近はこの絵本ばかり読んでいます。



Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

町公民館自主講座学習発表会

町公民館自主講座の学習発表会を開催します。ステージ発表や作品展示をしますので、この機会に各講座をご覧ください。

●日時 4月25日(土) 午前9時30分

●会場 町生涯学習センター・ホール、ギャラリーモール

●内容

【ステージ発表の部】大正琴、キッズダンス、フラダンス、レクリエーションダンス、社交ダンス、3B体操、英会話、オカリナ、相撲甚句、町民コーラス

【展示発表の部】版画、書道、生け花、パッチワーク、絵画、水墨画など

※受講申込みは、発表会当日および各講座で受け付けます。



- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)
✉klg110@town.kosa.lg.jp



町公民館大会・実践発表 芝原区の地域交流発表

2月21日(土) 町生涯学習センターで、第18回町公民館大会が開催され、約120人が参加しました。

実践発表では、地域交流の場づくりに取り組んだ芝原公民館の「生き生きスミ



▲芝原区での交流活動について発表する黒田さん

レ会」の活動について、黒田エツさん(芝原区)が発表。同会は、芝原区(光永カヨ子区長119世帯)の

区役員や老人会、民生員、地域福祉推進員が開催するもので、毎月1回地域住民などが公民館に集いお話を料理を作って交流し住民同士のつながりづくりの活動を行っています。

また、美里町の畝野地区住民の農家楽団との交流も平成22年から行っており、今後さらに継続していくことが期待されます。

町公民館大会・講演会 長寿社会での支え合い

講演会では、宮崎眞樹子さん(特別養護老人ホーム「桜の丘」施設長)が「長生きと終活」をテーマに講話を行いました。

宮崎さんは、「長寿社会を迎えた今日、終末期のための備えをすることが大切で

す。事前に家族と最期の希望を話し合ったり、次に決めておかなければならないことを考えたりしましょう」



▲長寿社会での地域のつながりの大切さを話す宮崎さん

と、終活への注意点を説明。「高齢者の増加や医療費の増加によって、今後の医療や介護の制度はどんどん変わってくるのが予想されます。その変化に対応するために各地域間のつながりを生かし、住民同士が支え合って生活することが重要です」と参加者に伝えました。

Human Rights

人権～心豊かに暮らすために～

同和問題についてみんなで考えよう

- 『寝た子を起こすな!』の考えでは同和問題の解決にはなりません

これは、「部落問題について何も知らない人にわざわざ問題所在を知らせる必要はなく、そっとしておけば自然に解決する」という比喩的表現です。

ただし、解放令によって身分制度がなくなった後、同和問題についての教育や啓発がほとんど行われない時期が約100年間続いたにもかかわらず、部落差別が解消されること

はなく、むしろ厳しさを増していったことから明らかです。

「教えるから差別が広まる」という考え方は誤りです。

- 同和問題について誤解を生むことがないように教育や啓発が必要

「同和問題について初めて知ったきっかけは何からか?」(内閣府2012人権擁護に関する世論調査)という問いに対し、「家族や親せき、近所、職場の人や学校の友達から聞いた。」と答えた人が29.9% (全国) 27.5% (九州) にのぼるなど、教育

や啓発以外のさまざまな機会に同和問題を知る人が非常に多いことが分かります。

つまり、教育や啓発をやめたとしても、何らかの形で同和問題を知る機会は数多くあり、誤った認識が広まることを防ぐことはできないということです。



- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

